

講義名	医療経済学		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	中島 孝子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>本科目では公的医療保険制度の仕組みに注目して、医療経済学におけるトピックを学習します。すなわち、医療保障制度としての保険に関する問題について学習します。はじめに医療サービスの特徴について学び、次いで、日本の医療制度と国民医療費の推移を概観します。さらに医療サービスの需要と保険について理解したあと、保険の特徴をいくつかの側面から考えます。最後に医療制度の国際比較をします。</p>			

到達目標			
<p>以下のトピックについて、現実採用されている制度、理論的問題および実証研究の結果などについて理解することを目標とします。</p> <p>①日本の医療制度と国民医療費 ②医療サービスの経済学的特徴 ③保険の仕組みと公的医療保険 ④医療制度の国際比較</p>			
提出課題			
<p>提出課題として小テストと課題を課します。詳細は授業中に指示します。</p>			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>課題提出後、解説や講評を行います。</p>			

評価の基準			
<p>成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。 配分は課題70%、平常点30%です。 昨年は履修登録者の88%が定期試験を受験し、その87%が合格しました。</p>			

履修にあたっての注意・助言他			
<p>経済学の入門レベルの科目を修得していることが望まれます。 この科目では、同時双方の遠隔授業を基本に、課題学習を組み合わせて授業を行います。</p>			

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献
<p>必要に応じてプリント資料を配布します。以下は、本科目の履修において有用な文献です。</p> <p>漆博雄「医療経済学」東京大学出版会 1999年 池上直己「ベーシック 医療問題（第4版）」日経文庫 2010年 橋本英樹・奥田信行編「医療経済学講義」東京大学出版会 2011年 河口洋行「医療の経済学（第3版）」日本評論社 2015年 細谷圭・増原宏明・林行成「医療経済学15講」新世社 2018年</p>
授業計画

<ol style="list-style-type: none"> 1 医療サービスとは (1) 医療サービスの特徴 サービスとしての医療 2 医療サービスとは (2) 医療サービスの特徴 不確実性、情報と主体 3 医療サービスとは (3) 医療サービスの特徴 公共性、整合性と排他性、外部性 4 医療サービスとは (4) 医療市場の特徴、クロスマンモナル 5 国民医療費・介護費用の動向 (1) 医療保険制度、国民医療費、高齢化、対国民所得比 6 国民医療費・介護費用の動向 (2) 伸び率、医療費はどこまで増やせるか、医療費と介護費 7 医療サービスの需要 (1) 需要の不確実性と保険 保険原理 8 医療サービスの需要 (2) 需要の不確実性と保険 保険加入のインセンティブ 9 医療サービスの需要 (3) 情報の非対称性、逆選択問題 10 医療サービスの需要 (4) 国民皆保険、モラル・ハザード問題 11 医療制度の国際比較 (1) 医療保障制度の類型 社会保険方式 12 医療制度の国際比較 (2) 医療保障制度の類型 NHS方式と私的保険方式 13 医療提供体制 (1) 医療の機能分化 14 医療提供体制 (2) 病院の分類、病床区分 15 全体のまとめと復習
--

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>毎回の授業後、復習をしてください。1回の授業で4時間が目安です。</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>授業中のアンケートや課題の提出などにレスポンスを使用します。</p>

実務経験の有無及び活用

備考